

復興道路 復興支援道路 全線開通へ

あれから
10年

2021年 東北が ぐっと近くに



岩手県 高田松原(奇跡の一本松)



岩手県 じんぎすかん



宮城県 さんさん商店街



福島県 そうま海鮮九層丼



福島県 いちご煮



宮城県 油麩丼



福島県 花見山



ひろのはしみどうろ さまらしいま ひろのたねいち
洋野階上道路(待浜IC~洋野種市IC)



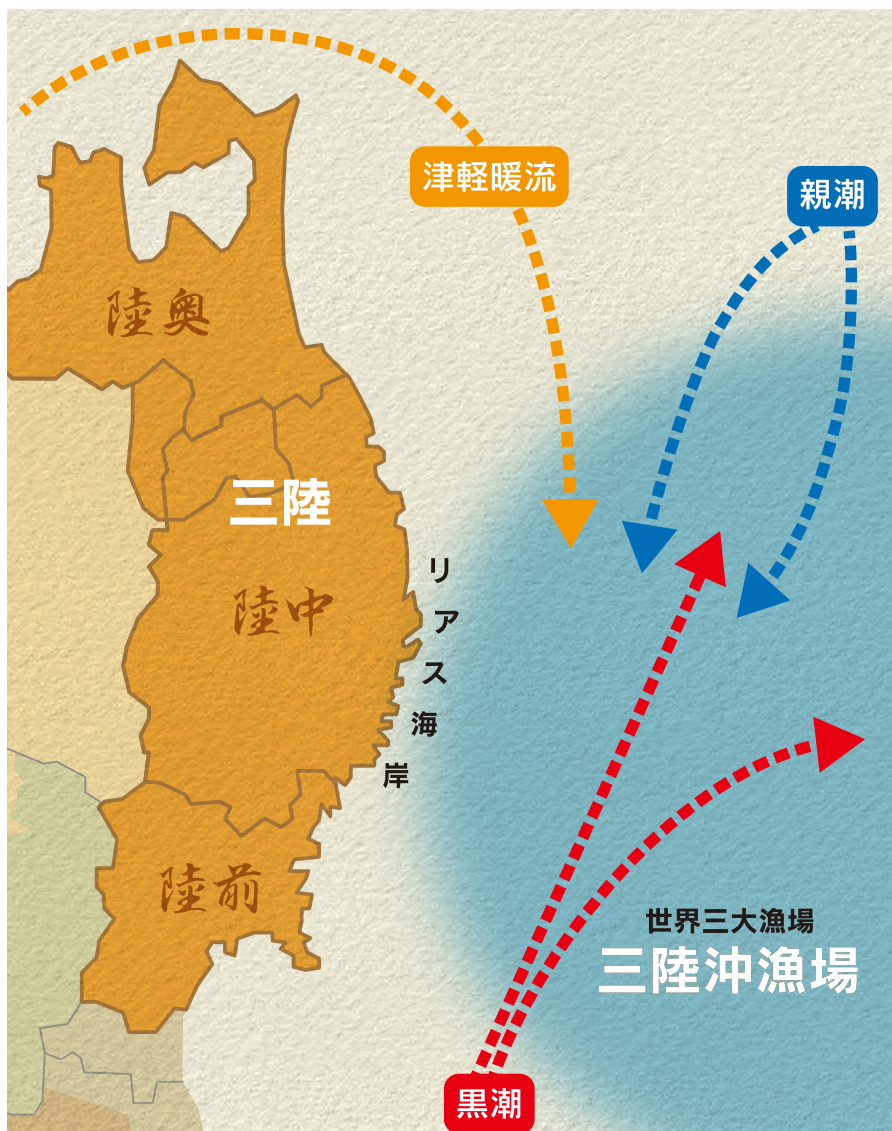
けせんぬまわんおうだんきょう けせんぬま
気仙沼湾横断橋(宮城県気仙沼市)



- 復興道路:三陸沿岸道路(三陸縦貫自動車道、三陸北縦貫道路、八戸・久慈自動車道)
- 復興支援道路:宮古盛岡横断道路(宮古~盛岡)、みやぎ県北高速幹線道路(栗原~登米)、東北横断自動車道釜石秋田線(釜石~花巻)、東北中央自動車道(相馬~福島)
- 東北自動車道・常磐自動車道
- 北関東自動車道 ■ 東京外かく環状道路 ■ 首都圏中央連絡自動車道

「三陸」という地域

「三陸」は、明治時代の地域の名称である陸奥・陸中・陸前（現在の青森県・岩手県・宮城県の一部）の三国の総称です。親潮・黒潮・津軽暖流がぶつかる潮目であることに加え、リアス海岸や多くの島々の点在が魚の絶好の住処となり、世界三大漁場のひとつとなっています。また、リアス海岸特有の海岸地形は風光明媚な景観を生み出しています。



豊かな海の恵みがある一方で、三陸は何度となく、大地震と津波に見舞われてきました。

869年 貞観津波

死者：1,000人

1611年 慶長津波

死者・行方不明者：1,787人

1896年 明治三陸津波

最大津波遡上高：38.2m

死者・行方不明者：21,959人

うたつむら なにかし かいしよ う あ
歌津村の某、婚礼を行う時、海嘯に遭うの図
(明治三陸津波)



出典：風俗画報120号(明治大学図書館所蔵)

1933年 昭和三陸津波

最大津波遡上高：28.7m

死者・行方不明者：3,064人

1960年 千り地震津波

最大津波遡上高：6.3m

死者・行方不明者：142人



種差海岸



唐桑半島折石

写真提供：宮城県観光課



ほや

写真提供：宮城県観光課



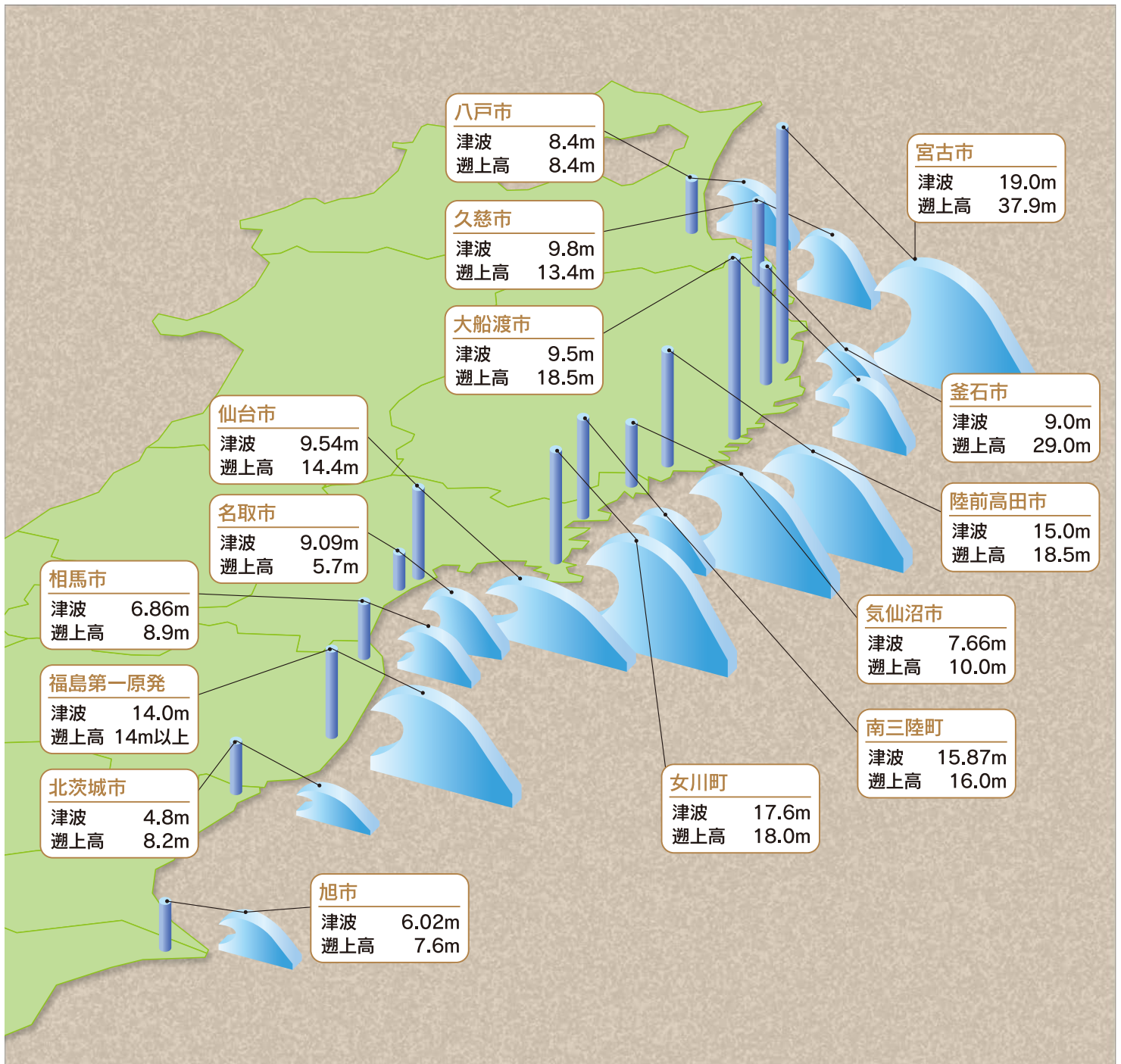
サンマの水揚げ

写真提供：宮城県観光課

3.11 東日本大震災

死者・行方不明者2万人を超える国内史上最大、20世紀以降世界で4番目の規模となった東日本大震災。

リアス海岸(岩手県宮古湾～宮城県牡鹿半島)では、そのV字型の湾の奥に波が集中することで、遡上高がさらに高くなり、岩手県宮古市で**37.9m**など各地で過去にない津波の遡上高が確認されました。



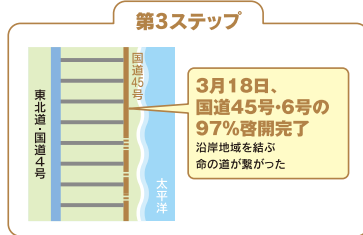
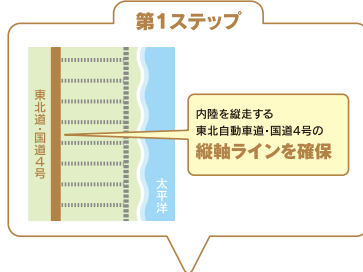
	死者	行方不明者	建築物被害 (2020年3月時点)			避難者数 2012年6月 (最大)	被害推計額 (2011年 6月時点)
			全壊・半壊	一部破損	計		
岩手	5,144人	1,112人	2.6万戸	1.9万戸	4.5万戸	4.3万人	-
宮城	10,566人	1,219人	23.8万戸	22.4万戸	46.2万戸	12.8万人	-
福島	3,904人	224人	9.8万戸	14.1万戸	23.9万戸	10.1万人	-
全国	19,729人	2,559人	40.5万戸	74.8万戸	115.3万戸	34.7万人	約16兆9千億円

「命の道」を切り啓く「くしの歯作戦」

津波により橋の流出や流出した建物などが道路をふさぐなどにより、被災地域の孤立が発生しました。

救援隊や支援物資を被災地に届けるため、内陸部を南北に貫く東北縦貫自動車道と国道4号から沿岸部に「くしの歯」のように伸びる何本もの国道のがれき撤去などが進められました。この「くしの歯作戦」は国土交通省、地域の建設業者、自衛隊、警察などが一体となって取組み、震災発生から一週間で救援のための道が切り啓かれました。

一面のガレキから、「道」を啓く



ガレキに覆われた国道 (岩手県陸前高田市)



啓いた後の国道 (岩手県陸前高田市)



資料: 東日本大震災津波伝承館

啓かれた道を通して、震災翌日から陸・海・空各自衛隊、各県の緊急消防隊、広域緊急救助隊、海上保安庁、DMAT(災害派遣医療チーム)などが被災地へ急行し、総力をあげて人命救助や行方不明者の捜索を開始しました。各国からも救助隊員や救助犬、医療チーム、物流支援要員など29の国と地域、国際機関から緊急支援の手が差し伸べられました。



復興道路・復興支援道路とは

有史以来の巨大地震が引き起こした東日本大震災は、直接の被災地である東北地方と一部関東のみならず日本中を巻き込み、さらに世界にも影響を与える未曾有の大災害となりました。復興のリーディングプロジェクトとして、復興道路・復興支援道路の整備が始まりました。

復興道路・復興支援道路 約570km

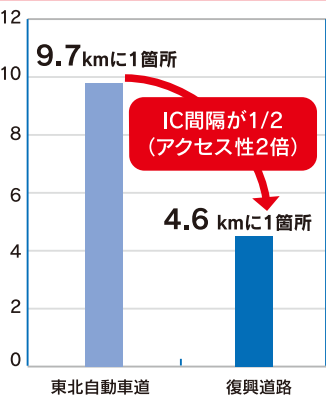
平成23年11月21日に第三次補正予算が成立し、三陸沿岸道路(三陸縦貫自動車道、三陸北縦貫道路、八戸・久慈自動車道)が「復興道路」として、また、宮古盛岡横断道路(宮古～盛岡)、東北横断自動車道釜石秋田線(釜石～花巻)、東北中央自動車道(相馬～福島)が「復興支援道路」として、新たに224kmが事業化されました。



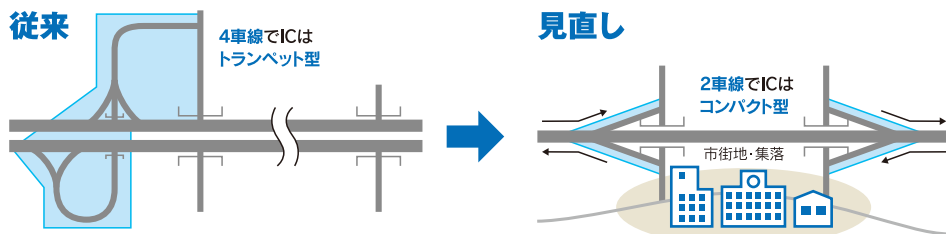
三陸地域の暮らしを支え、命を守る 6つの設計コンセプト

- 1 強靱性の確保**
 復興道路が通過するルートは津波で浸水した区域を回避するように設定しました。
- 2 低コストの実現**
 必要最小限の車線数の確保とコンパクトな形状のインターチェンジ整備で、費用を削減しました。
- 3 復興まちづくりの支援**
 新たなまちづくりと連動させ、市街地からのアクセスの良さや利便性を考慮したインターチェンジを整備しました。
- 4 IC等の弾力的配置**
 水産業・商工業施設、防災拠点施設や病院へアクセスしやすい位置にインターチェンジを整備しました。
- 5 避難機能の強化**
 災害時に復興道路が避難場所となるよう、避難階段を設置しました。
- 6 ICTによる通行可能性把握**
 ICT(情報通信技術)によって災害時に通行可能なルート of 情報を把握しています。

短いIC間隔で弾力的な配置を実現



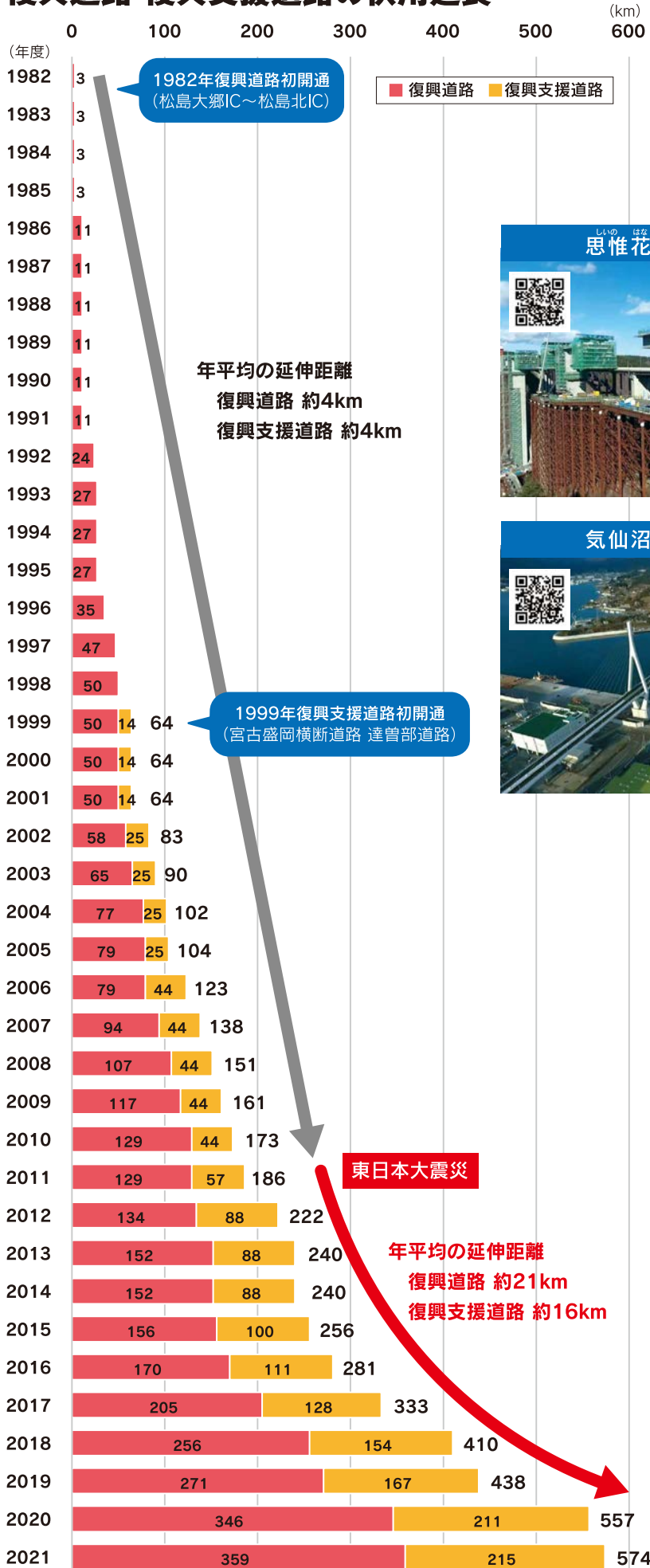
コンパクトなIC形状で低コストを実現



■ 復興道路:三陸沿岸道路(三陸縦貫自動車道、三陸北縦貫道路、八戸・久慈自動車道)
■ 復興支援道路:宮古盛岡横断道路(宮古～盛岡)、みやぎ県北高速幹線道路(栗原～登米)、東北横断自動車道釜石秋田線(釜石～花巻)、東北中央自動車道(相馬～福島) ■ 東北自動車道・常磐自動車道
■ 北関東自動車道 ■ 東京外かく環状道路 ■ 首都圏中央連絡自動車道

復興道路・復興支援道路の整備

復興道路・復興支援道路の供用延長



未曾有の大災害からの復興を目指し、異例のスピードで事業が進められました。これまでの三陸沿岸道路の事業化から開通までの平均年数は約18年。震災時点で開通している復興道路・復興支援道路の延長は約170kmで総延長約570kmのわずか30%でしたが、震災後10年で全線開通させることを目標に始動しました。



R3.3 復興道路開通式(気仙沼湾IC～唐桑半島IC)



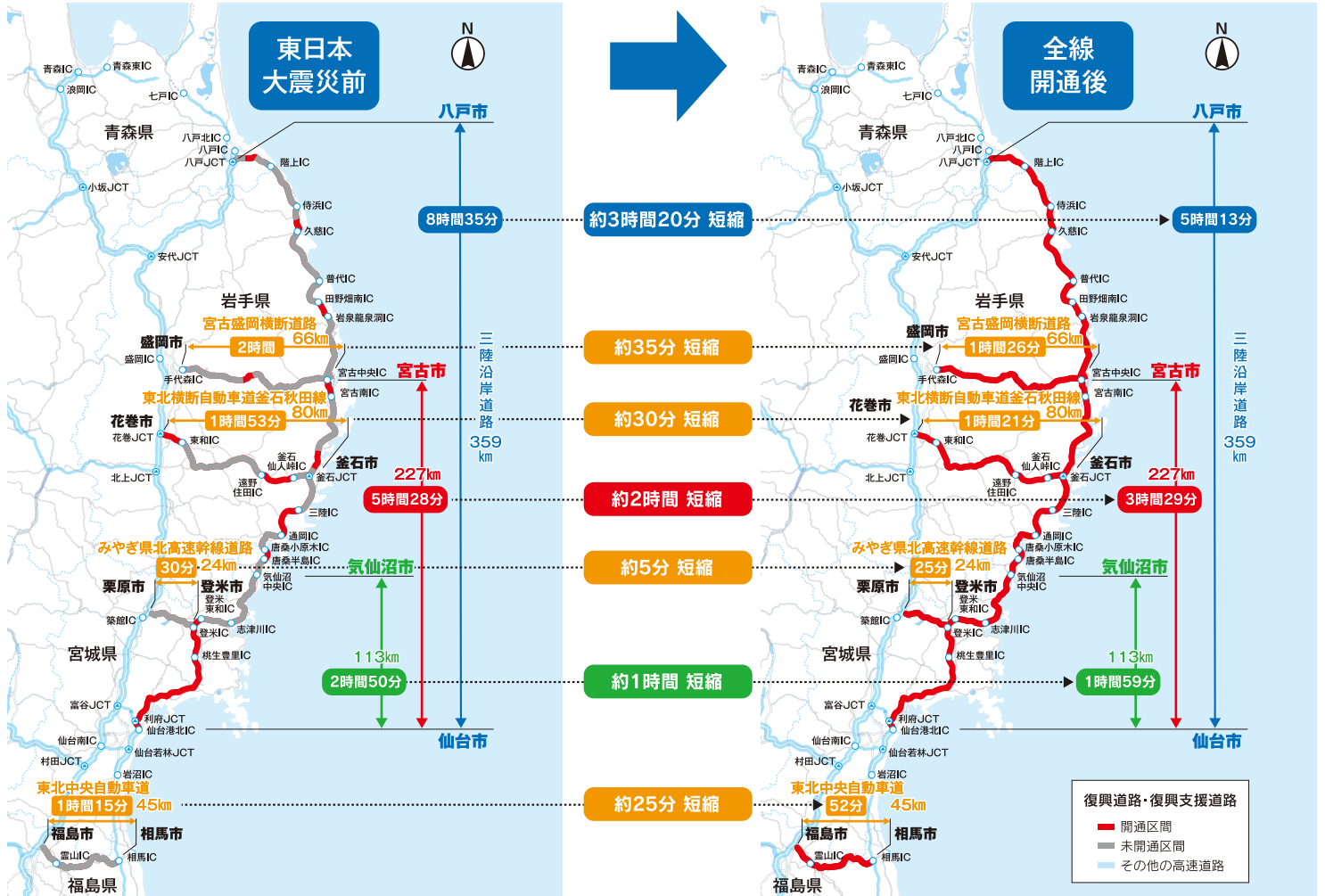
R3.3 復興支援道路開通式(平津戸・岩井～腹帯)

2021年、復興道路・復興支援道路がいよいよ全線開通します！

復興道路・復興支援道路の整備効果

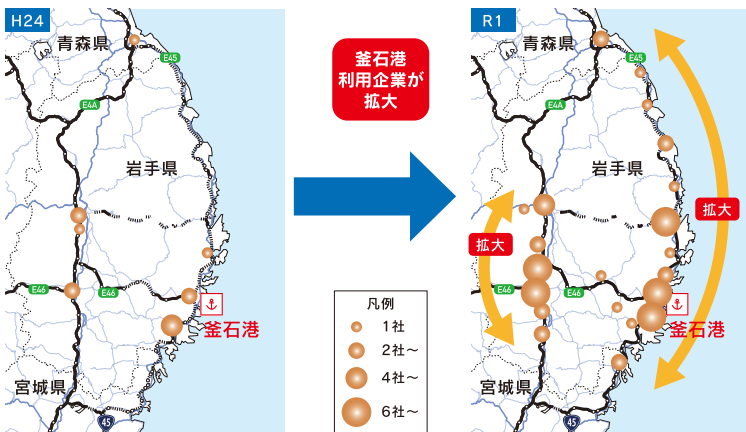
復興道路・復興支援道路の整備が進み、移動時間が短縮し、便利になります！

移動時間が短縮し、地域の産業や日常生活の利便性向上に貢献

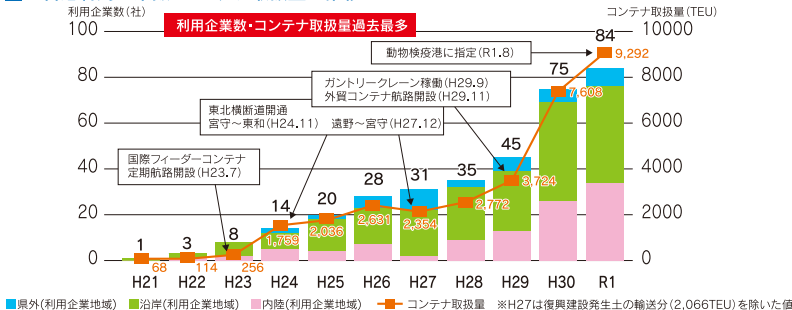


復興支援道路の開通により沿岸部だけでなく、内陸部も釜石港利用企業が拡大。地域の物流に貢献

釜石港利用企業数の自治体別変化 資料:釜石市



釜石港利用企業数・コンテナ取扱量の推移 資料:釜石市



津波浸水区域を回避し、強靱で信頼性の高い道路ネットワークを形成

津波浸水域より高い位置を通過する三陸沿岸道路(写真1)



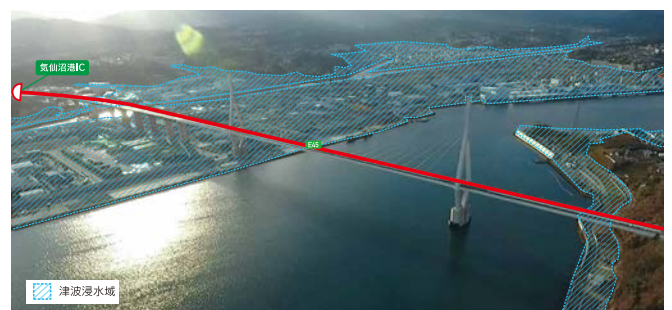
釜石市街地の被災状況(写真2)



釜石市街地の啓開作業(写真3)



出典:(写真2)(写真3)一般社団法人協働プラットフォーム



三陸沿岸エリアへのアクセス

駅から快適なドライブで 近くなった東北へ!!



※所要時間は目安です。

復興道路・復興支援道路は、
東北デスティネーション
キャンペーンを
応援しています。

巡るたび、
出会う旅。
東北

東北デスティネーションキャンペーン
2021.4.1~9.30



